

イノモトソウ科

ヒメミズワラビ

Ceratopteris gaudichaudii Brongn. var. *vulgaris* Masuyama et Watano

兵庫県ランク… C
環境省ランク… -

■ 県内分布

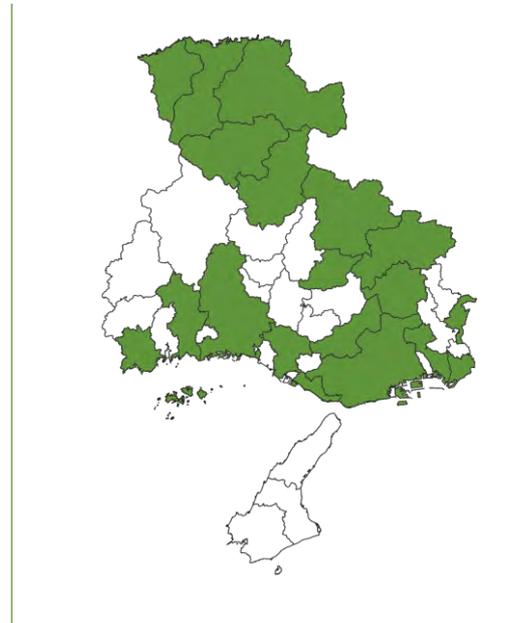
神戸市、尼崎市、西宮市、川西市、三田市、明石市、加古川市、西脇市、三木市、姫路市、赤穂市、たつの市、豊岡市、養父市、朝来市、香美町、新温泉町、丹波篠山市、丹波市

■ 国内分布

本州(新潟県、関東以西)、四国、九州、琉球諸島

■ 選定理由

人為性		特殊性		学術性	
生育環境破壊	○	特殊生育環境	○	特殊な分布	
観賞用等採取		特異な生態		分布の限界	
				希少	○



■ 特記事項

2010年版ではミズワラビとしていたが、その後2種に分類され、本県に分布するのはヒメミズワラビのみとなった。2000年代以降、但馬、丹波ではかなり見かけるようになり、阪神でも見つかるようになっている。



写真提供:鈴木 武

■ 保護上の留意点

-

■ 種の概要

1年生で、水田や湿地に生育。やわらかい葉はときに50cm以上になるが、長さ数cm程度の個体も見かける。裂片が角状になった孢子葉に9月以降に孢子をつくる。冬には枯れる。